



赤と黒 基本ルールブック（書苑新社版） エラッター一覧

2022年5月12日 2箇所追加

ページ	場所	誤	正
11	中段 6 行目	登録する順序に番号をふる。矛盾する情報が出現した時は、番号が小さい、つまり、先に登録されたほうが優先。	登録した順に番号をふる。告発の論拠を検証する時、矛盾する宣言があれば、先に登録されたほうが優先だ。
11	左段下から 8 行目	メモを書いているうちに、次にどう行動するかを考えておくとい。なので、隣のプレイヤーが書くのが基本的なルールになっている。	秘密になるなら GM が宣言を付箋にメモするけど、そうでない場合、他のプレイヤーに書いてもらって、その間に進めるのがいいかと思っている。
13	左段下から 9 行目	破綻者の系譜の基本、汝の存在を破綻させる【破綻権限】よ！ びしいと鞭の一撃。補充した 2 枚をあわせて、カードを 4 枚使って 4 点ダメージ。	補充したカードで色々使えるわ。まず【苦痛権限】で 2 ダメージと 2 点回復。回復した HP を消費して【破綻権限】で 2 枚プレイの 2 点ダメージ。鞭が唸る！
13	右段上から 10 行目	しかも彼女は《シールド + 2》と《リベンジ + 2》の効果を受けているため、被ダメージを 2 点減少させ、1 点のみ。そして 1 点でもダメージを受けると、《リベンジ》の効果で攻撃側に反撃ダメージを与えることができる。 GM：うう、どうせなら完全に打ち消してくれれば反撃されなかったものを。	しかもクローネルは権限魔法によって《リベンジ：2》の効果を受けているため、彼女が攻撃によってダメージを受けた場合は、この《リベンジ》の数値ぶん、攻撃側に反撃ダメージを与えることができる。局面の終了時に消える効果ではあるが。 GM：うう、いたた。ダメージ減少の《シールド》するかと思ったが前のめりだなあ。
13	中段 13 行目	まず【守護権限】で自分に<シールド+2>と<リベンジ+2>を与えます。	まず権限魔法【守護権限】で、自分に<リベンジ+2>を与えます。
13	中段 15 行目	ダメージ防御と自動反撃だね。	ダメージ時の自動反撃だね。

ページ	場所	誤	正
31	追求者の権限魔法 右端の魔法名	断罪顕現	断罪 権限
31	追求者の権限魔法 【断罪権限】の効果	対象の告発が正解した時、	対象の告発が 正解ボーナスを発生させた時、
31	一番下に記載されている体系： 黒杖三章のマーク		
33	守護者の上級宣言	継続：自陣営を対象に、対象は 宣言魔法と 盤面干渉の対象にならない。 対象に発揮していた宣言魔法の継続効果も解除する。 ※LV3:継続効果は任意のものだけ選んで解除可能	継続：自陣営を対象に、対象は盤面干渉の対象にならない。 ※LV3：無効化した時、あなたは魔力？：1点獲得
33	上級宣言《パラノイアレプリカ》 レベル成長時効果	LV3：1兆個まで指定可	LV2：1兆個まで指定可
37	逆境者の上級宣言全般	文頭の三角マークを削除	
37	下方の左 【逆境権限】の効果	継続：あなたを対象に	あなたを対象に、
37	逆境者の権限魔法全般	文頭の三角マークを削除	
39	上級宣言《パラレル不在証明》 レベル成長時効果	LV3：プロジェクト中に何度でも使用可能になる。	LV3：“いる”という宣言も可
39	【破綻権限】フレーバーテキスト	破綻者としての基本権限で攻撃する	破綻者としての基本権限で 負傷をあたえる
39	破綻者の上級宣言全般	文頭の三角マークを削除	
39	破綻者の権限魔法全般	文頭の三角マークを削除	
39	下方の左、 【破綻権限】起動条件	? : 1~	? : 1
41	【勅命権限】フレーバーテキスト	盤面世界を掌握し、すべての命を支配する	盤面世界を掌握し、 すべての魔法 を支配する
54	右段 下から4行目	※10	※8
57	調書の例 告発条件	調書1を告発済	(文言を削除)
59	調書の例 告発条件	調書1を告発済	(文言を削除)

ページ	場所	誤	正
59	調書の例示内の成立ボーナス	? : 4 1 攻撃 1 2 威力 + 1	魔力? : 4 紋章×1 攻撃 威力1×回数2 正解 威力+1
59	調書の例示内の論拠	宣言×2	×2
63	脚本の発見の脚本例示内	以下を削除 ※6	
63	右段4行目	これは秘密状態の脚本を発見した場合も同じで、秘密の状態でも魔力は入手します（公開時ではありません）。	脚本は、秘密状態に設定されている場合があります。特に、事件解決に重要な脚本は秘密状態に設定され、かつ公開条件に高い魔力が設定されていることでしょう。こうした秘密状態の脚本と一致する内容の情報が宣言されようとした場合、GMは回答を決して言葉では告げず、付せん紙の裏に情報だけ記し、伏せたまま、つまり秘密の宣言として登録してください（裏面には公開条件を記しましょう）。 この時、秘密の状態でも発見者は脚本の魔力だけは入手します（秘密の公開時ではないことに注意してください）。
63	脚本の発見の脚本例示内	以下を削除 ※6	
66	盤面支援表6番の内容	未発見のもっとも高い脚本1つの発見条件が判明する	未発見のもっとも獲得魔力の低い脚本1つを発見、登録する
66	盤面支援表7番の内容	未発見のもっとも高い脚本1つの発見条件が判明する	未発見のもっとも獲得魔力の低い脚本1つを発見、登録する
70	見出し「告発を選んだ時」 最終行	66ページを参照しましょう。	76ページを参照しましょう。
70	調書の例示内の成立ボーナス	? : 4 1 攻撃 1 2 威力 + 1	魔力? : 4 紋章×1 攻撃 威力1×回数2 正解 威力+1
70	調書の例示内の論拠	宣言×2	×2

ページ	場所	誤	正
77	※24 注釈	自己を「殺害」することそのものは可能です。その場合	自己を「殺害」することそのものは可能です。その場合、 魔法は起動しません。
78	脚注 26	殺害した相手の栄光が 1 点以下の場合、殺害した側が得られる栄光の量は端数切捨にともない 0 点になります。 また、当然、 栄光：0 の相手を殺害した場合は、栄光を得ることはありません。	殺害した相手の栄光が 1 点の場合、殺害した側が得られる栄光の量は 端数切上により 1 点になります。 栄光：0 の相手を殺害した場合は、栄光を得ることはありません。
85	暗示表	以下の文言を追加。 JOKER「放浪」「無垢」「狂気」「無謀」	
85	脚注※ 8	以下の文言を削除 は様々な意味がこめられています。	
88	右段 下から 6 段目	最大で 3 個まで	最大で 6 個 まで
94	黒杖二章 魔法名	【殺傷権限】	【 光壁権限 】
94	黒杖二章 【転移権限】	「威力 + 2」する	「 回数 + 2 」する
94	黒杖三章 【死蝕権限】の効果	この手番終了時	この局面 終了時
95	赤杯一章 【法力権限】	参戦者 1 名を対象に	あなた以外の参戦者 1 名 を対象に
95	赤杯一章 魔法の名称および プレーヤーテキスト	【倦怠権限】 魔力を鎮静化し、場を倦怠で満たす	【 光盾権限 】 戦列を保護する輝きの盾を張る
95	赤杯一章 【倦怠権限】	名称・内容を以下に変更 赤杯一章：【光盾権限】 戦列を保護する輝きの盾を張る 継続：自陣営を対象。 対象に〈シールド：1〉をあたえる。	
95	赤杯二章 【光盾権限】	名称・内容を以下に変更 赤杯二章：【倦怠権限】 継続：参戦者 1 名を対象。 対象が攻撃を受けるとき。 それが 8 ダメージ以上の場合、7 ダメージに変更してもよい。	
95	赤杯三章 【聖誕権限】の効果	殺害された時。	殺害された時、
95	赤杯三章 【秘跡権限】の効果	殺害された時。	殺害された時、
95	赤杯三章 【冥府権限】の効果	1 ダメージ以上を受けた時。	1 ダメージ以上を受けた時、

ページ	場所	誤	正
95	赤杯三章【聖痕権限】の効果	1 ダメージ以上を受けた時。	1 ダメージ以上を受けた時、
95	赤杯三章【楽園権限】の効果	1 ダメージ以上を受けた時。	1 ダメージ以上を受けた時、
95	赤杯三章【創世権限】の効果	1 点以上回復するたび。	1 点以上回復するたび、
96	赤印二章【運勢権限】の効果	対象はプレイ時、手札を好きな枚数破棄する。その後、山札から同じ枚数だけ引き、プレイする。 山札からプレイしたカードが起動の条件を満たした場合のみ、臨んだ魔法が起動する。	対象は権限 / 顕現魔法起動時、手札を好きな枚数破棄した後、山札の上から同じ枚数のカードをプレイする。このカードが、望んだ魔法の起動を満たせば起動し、満たさなければ魔法は起動しない。
96	赤印三章【集中権限】	〔起動〕? : 1 0	〔起動〕? : 1 6
96	赤印三章【補完権限】	効果に以下を追加 効果を発揮後、この魔法は解除される。	
96	赤印三章	【万象権限】 万象の魔力に満ちた可能性世界を開く	【越境権限】 万能の魔力に満ちた可能性世界を開く
113	左段 4 行目	《脚本保証》	《死亡定義》
116	左段下から 8 行目	以下は、魔力の発見条件と量に関する目安です。 発見条件の欄は、条件の総魔力値が書かれています。例えば発見条件が 3 と書かれているなら	以下は、魔力の 公開条件と獲得魔力に関する 目安です。 公開条件の欄は、条件の総魔力値が書かれています。例えば 公開条件が 3 と書かれているなら
116	右段 魔力配置の指標一覧内	〔発見条件〕	〔秘密 : 公開条件〕
116	脚注 11 内	配置する魔力は、赤と黒が、なるべく均等になるよう配分します。	公開条件の魔力値は、赤と黒と が、なるべく均等になるよう調整しましょう。
116	脚注 11 内	「物的な証拠 : 黒」「人間の証言 : 赤」「まじめな捏造 : 黒」「ヘンテコな捏造 : 赤」	「物的な証拠 : 黒が多め 」「人間の証言 : 赤が多め 」「 痕跡 : 同程度 」「 不審点 : 同程度 」

ページ	場所	誤	正
116	…脚本の配置	これらの脚本を発見して獲得する魔力で自分を強化していきます	これらの脚本の情報を宣言魔法によって登録することで、魔力を獲得して自分を強化していきます。